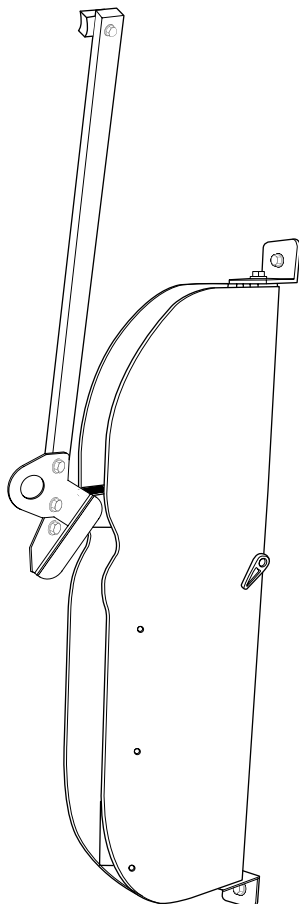


壁付け駐輪ラック組立説明書

CF-AN型

製 造
番 号

〈完成図〉



○別売品：オプション柱の組立説明付



住宅関連製品総合メーカー

株式
会社

ダイケン

成田工場 千葉県富里市美沢11-1
0476(90)0711(代)

本 社 大阪府大阪市淀川区新高2-7-13
06(6392)5321(代)

札幌支店 札幌 011(881)3121(代)

東京支店 東京 03(3633)6551(代)

(東京第1営業所/東京第2営業所)

名古屋支店 名古屋 0586(77)7561(代)

大阪支店 大阪 06(6392)5556(代)

(大阪第1営業所/大阪第2営業所)

営業所 盛岡 019(629)2202(代)

仙台 022(235)4380(代)

埼玉 048(667)9381(代)

神奈川 045(316)3901(代)

静岡 054(237)5375(代)

岡山 086(297)9100(代)

広島 082(294)9181(代)

福岡 092(482)8112(代)

出張所 東京西 042(567)1338(代)

特販営業所 03(3633)6552(代)

⚠ 施工上のご注意

- 製品は、必ず水平状態にして設置してください。
- 製品は、必ず組立説明書に基づき施工を行い、使用前に必ず確認してください。
- 基礎工事又は壁に取付けの際のオールアンカーは必ず確認してください。
- 屋上等、強風時自転車の転倒・落下等の事故の恐れのある場所へは、設置しないでください。
- 屋根が無い所、風が強い所（風速10m/s以上の場所）に設置しないでください。
- 組立作業の安全保護上、手袋等をご使用ください。
- みだりに改造・変更はしないでください。
- 組立完了後は、各部を再確認してください。
- 重量物の運搬は2人以上で行ってください。
- 避難通路には設置しないでください。
- 組立途中で放置しないでください。

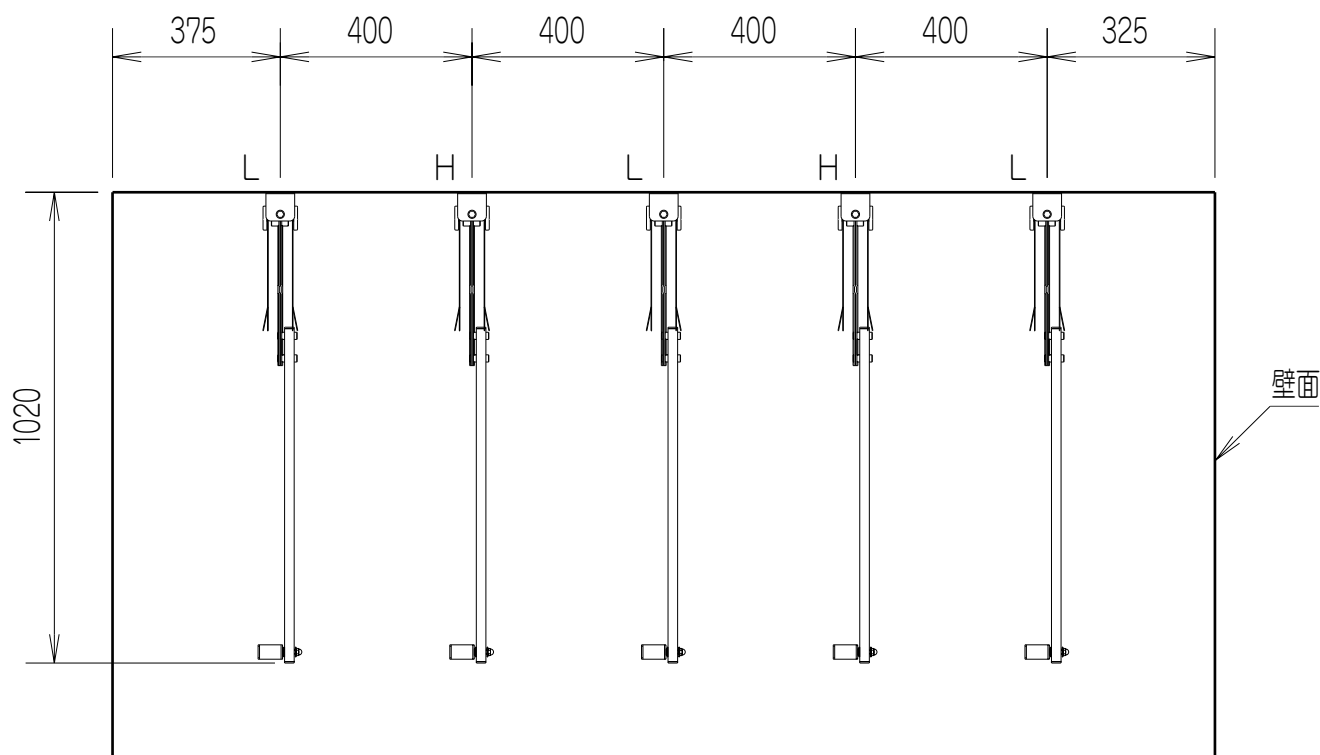
⚠ 取扱い上のご注意

- 製品に貼付してあります注意文シールの注意事項を、必ずお守りください。
- アームが稼働中は、手や足など人体を触れないでください。
- アームが稼働中は、自転車を不用意に動かさないでください。フックからタイヤが外れ、自転車が落下する恐れがあります。
- 自転車以外のものは収納しないでください。（荷台に人や籠の中に物を載せたまま使用しないでください。）
- 製品に傷がついた場合は、塗料などで錆を防止する為補修してください。
- 子供用は危険防止のため、収納しないでください。
- アームを下ろす際は、障害物がない事を確認し稼働させてください。

基礎寸法図

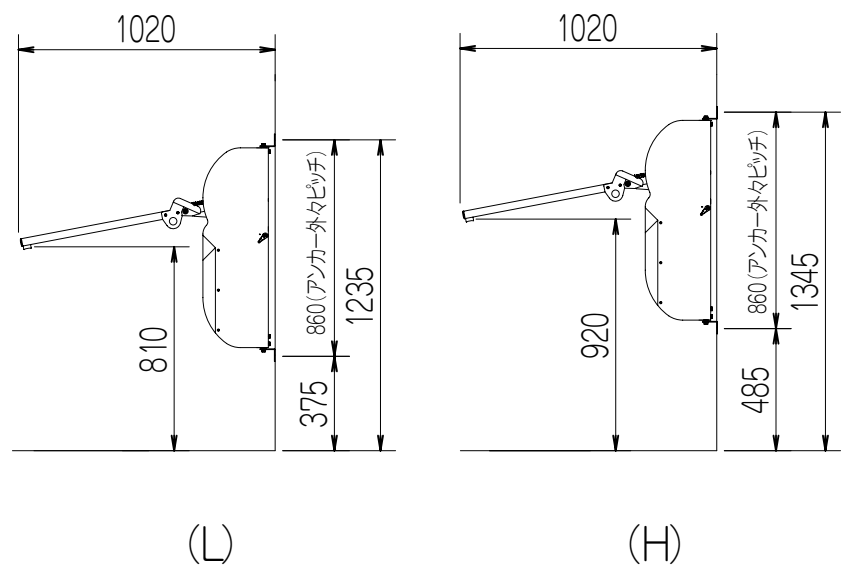
●単列タイプ（壁取付の場合）

下図は5セットの平面配置図例です。
アンカー固定は1台あたり2ヶ所の固定です。（オールアンカーM8×50 現場で準備をお願いします）



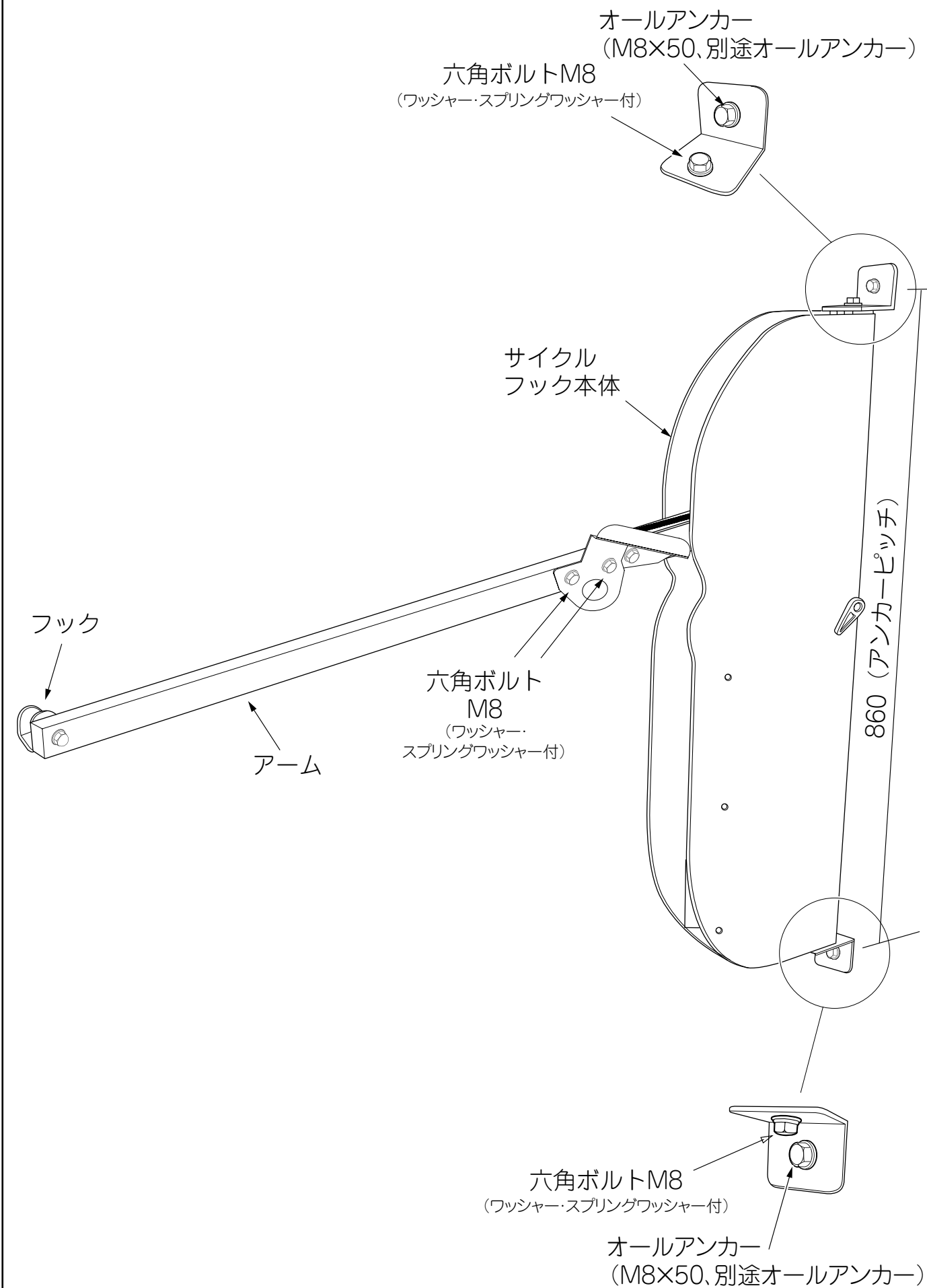
平面図

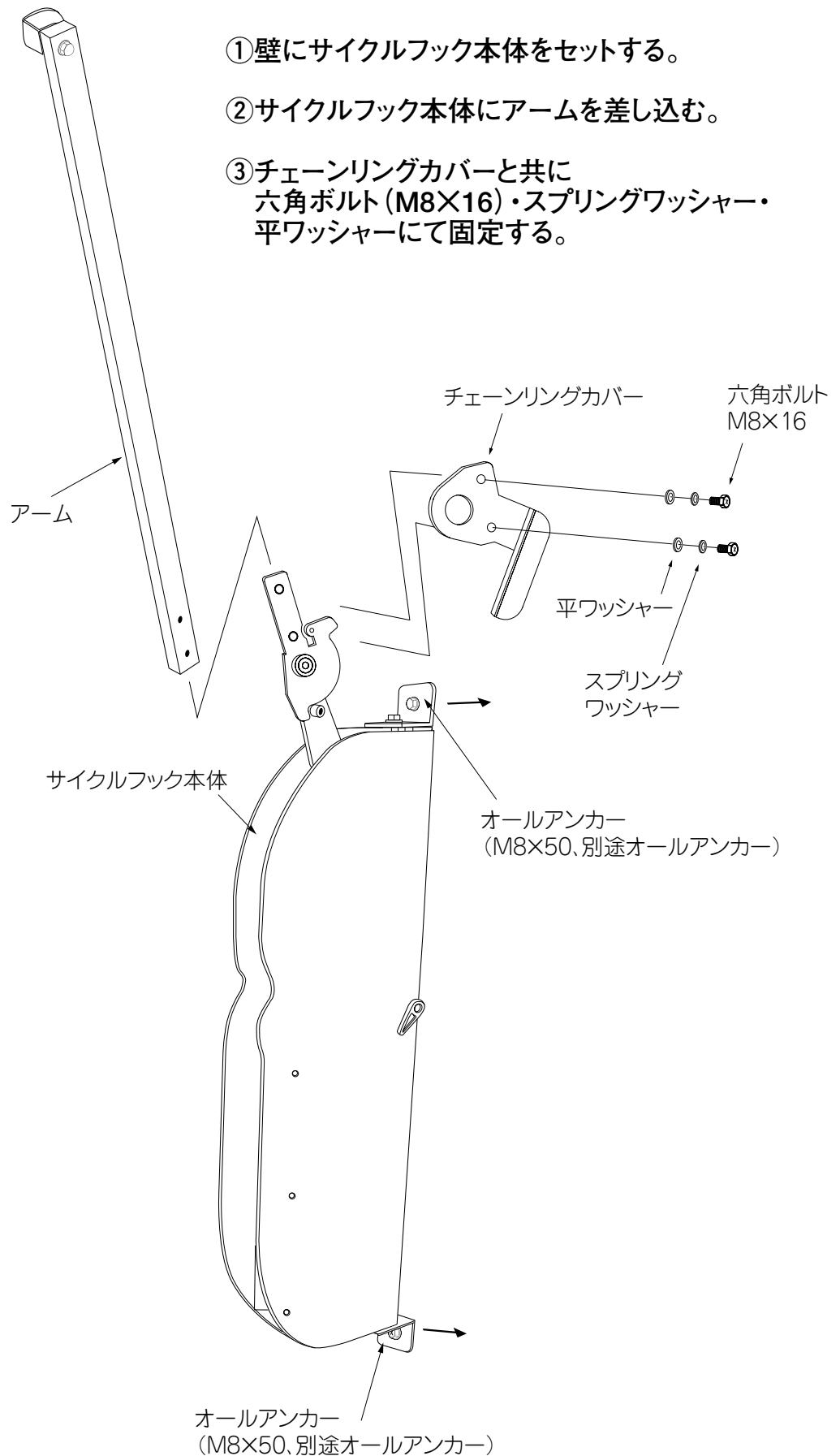
1セット増設するごとに400mmづつ寸法が変わります。



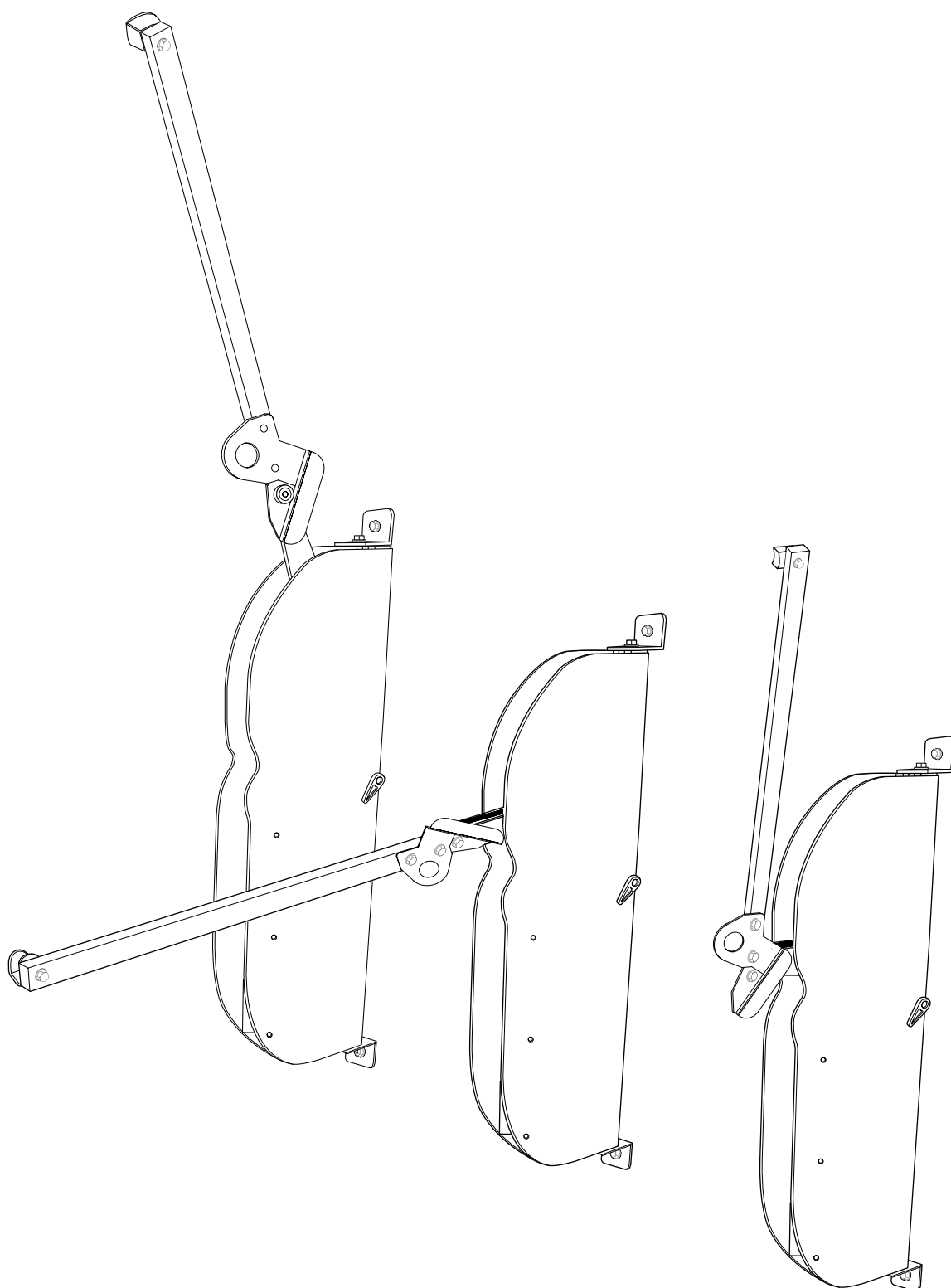
側面図

名 称





- ※1 壁面に直接取付ける際は別途アンカーをご用意ください。
(1体につきM8×50 2本必要 RC以外の躯体に、後施工アンカー止めは不可です。)
- ※2 サイクルラックを取付けるRCの壁厚は150mm以上の箇所で施工してください。
(配筋が干渉しない所で施工してください)

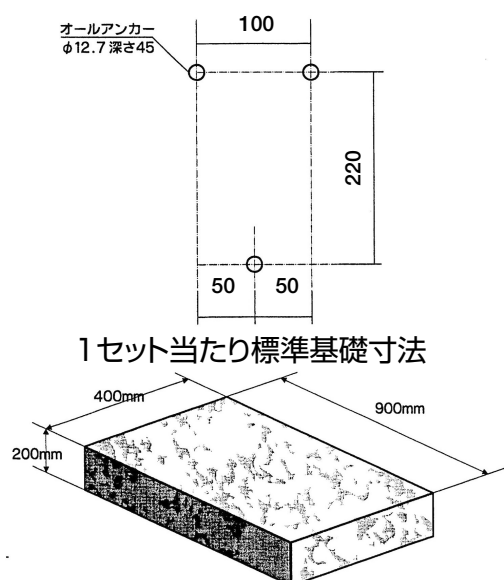


最後に

- ①各部のボルトの締め忘れがないか確認してください。
- ②ロックの解除、ロックが掛かるか動作確認してください。

〔別売品：オプション柱の組立〕

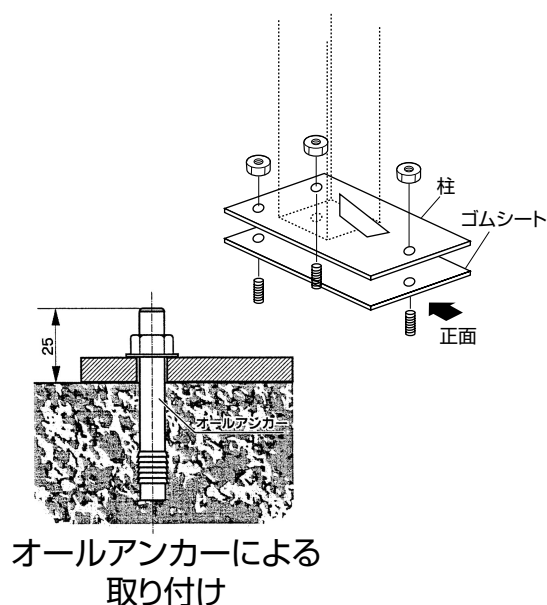
① コンクリート基礎に アンカー用の下穴を空けます



※別売品の柱は、オールアンカーで床面に固定しますのでコンクリート基礎工が必要となります。

② 柱を立てる

※水平・垂直は必ず
出すようにモルタル
等で調整してください。



- ※①サイクルフック本体を柱に取付けるボルトやナットは柱梱包に同梱しております。
- ※②別売品のオプション柱にはアンカーが付きます。

- ③柱にサイクルフック本体をセットする。
- ④サイクルフック本体にアームを差し込む。
- ⑤チェーンリングカバーと共に六角ボルト (M8×16)・スプリングワッシャー・平ワッシャーにて固定する。

